

公共施設アンケート 回答結果まとめ

2025年（令和7年）6月

明石市総務局財務室財務担当（公共施設担当）

目次

1. アンケート調査の概要	2
2. 回答者の属性	3
3. 各項目の集計結果（公共施設全体の今後のあり方）	4
4. 各項目の集計結果（個別施設の利用状況や今後のあり方）	11
5. その他	23

1. アンケート調査の概要

1. 目的

「(仮称)明石市公共施設配置適正化計画」の改定にあたり、施設の統廃合や民営化などを含めた今後の公共施設のあり方について、明石市民のご意見をお伺いし、「財政及び公共施設のあり方検討会」や「ワークショップ」等において検討時の基礎情報として活用するため。

2. 実施方法

Web アンケート形式

※市役所(市民課)、3市民センター、4サービスコーナー、あかし総合窓口、あかし斎場旅立ちの丘、明石駅前立体駐車場にアンケート用紙や回収BOXをあわせて設置



あかし総合窓口



あかし斎場旅立ちの丘

3. アンケート項目

平成 27 年度に公共施設配置適正化計画を策定するにあたり実施したアンケート調査と回答内容を比較できるように、当時の質問内容をベースとし、以下の3項目で構成した。

第 1 期計画において、廃止や民営化の検討を行うことが明記されている施設(明舞・高丘・江井島サービスコーナー、あかし斎場旅立ちの丘(葬祭式場)、明石駅前立体駐車場)については、個別に施設の利用状況や今後のあり方に関する設問を設けた。

- (1) あなた(回答者)自身について
- (2) 公共施設全体の今後のあり方について
- (3) 個別施設の利用状況や今後のあり方について

4. 調査期間

令和7年5月9日(金) ~ 令和7年6月2日(月)

5. 周知方法

市ホームページ、広報あかし、市公式 LINE、市公式 X(旧ツイッター)、市公式フェイスブック など

6. 回答数

724(Web:671、紙 53)

2. 回答者の属性

回答者の年齢は、「50 歳代」が最も多く、23.5%、次いで「60 歳代」が 21.3%、「40 歳代」が 20.0%であった。

なお、市の実際の人口の年齢構成比と比較すると、「30 歳代」から「60 歳代」までの回答割合が高く、「20 歳代」以下と「70 歳代」以上は割合が低かった(表参照)。

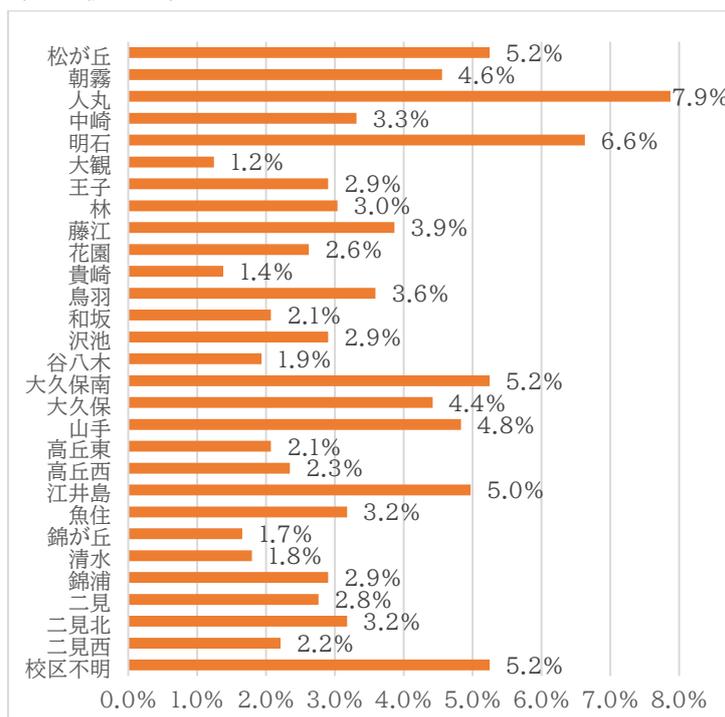
表 回答者の年齢構成と市全体の年齢構成の比率

	回答数(①)	明石市人口(②)	差分(①-②)
10 歳代	6(0.8%)	27,758 人(10.0%)	-9.2%
20 歳代	35(4.8%)	29,071 人(10.5%)	-5.7%
30 歳代	130(18.0%)	37,505 人(13.5%)	4.5%
40 歳代	145(20.0%)	40,251 人(14.5%)	5.5%
50 歳代	170(23.5%)	45,269 人(16.3%)	7.2%
60 歳代	154(21.3%)	33,485 人(12.0%)	9.3%
70 歳代	72(9.9%)	36,302 人(13.1%)	-3.2%
80 歳以上	12(1.7%)	28,409 人(10.2%)	-8.5%
計	724	278,050 人	

※明石市人口は、住民基本台帳人口(R7.5.1 現在)。差分は

回答者の居住地(小学校区別)は、「人丸小」が最も多く 7.9%、次いで「明石小」が 6.6%であった(図参照)。

図 回答者の居住地(小学校区別)

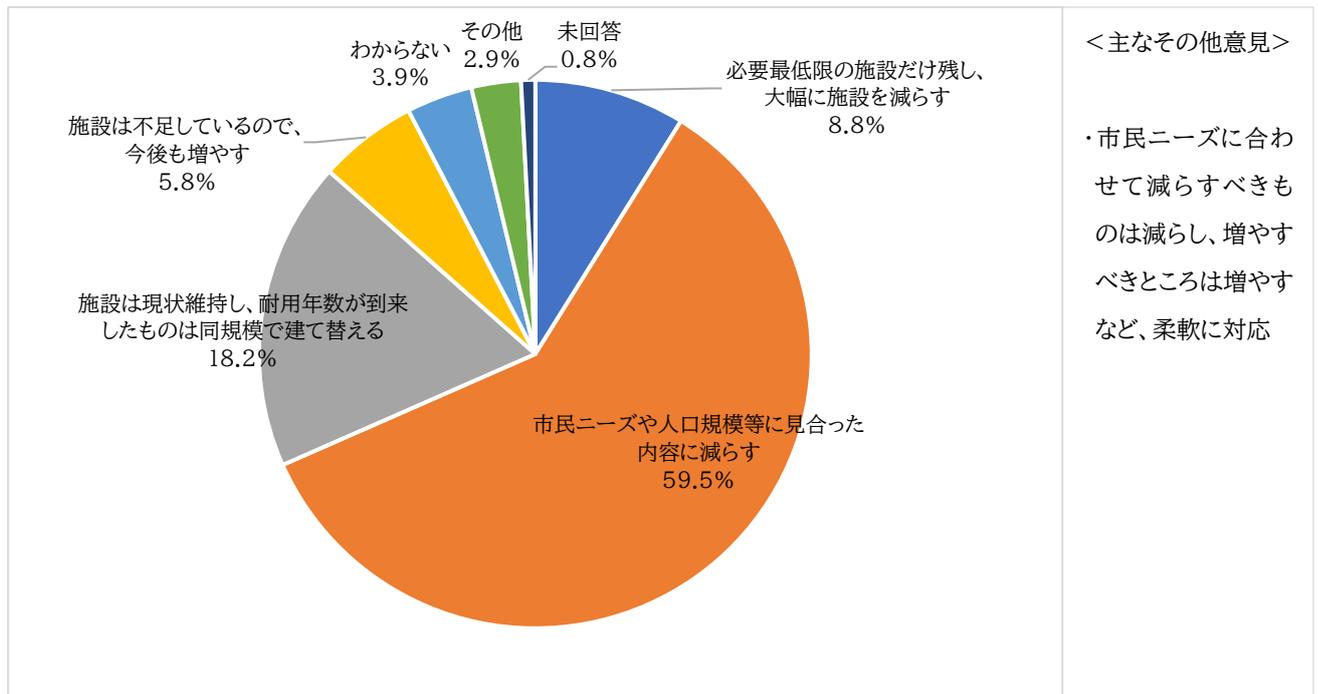


3. 各項目の集計結果（公共施設全体の今後のあり方）

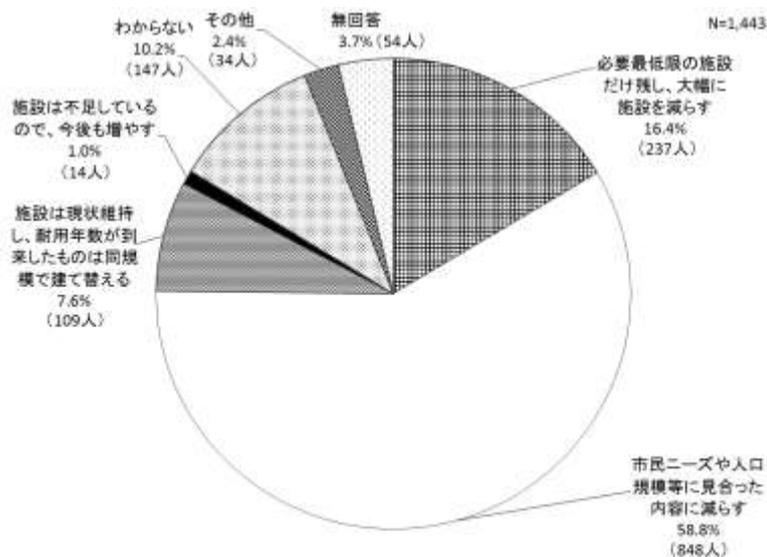
問1. 公共施設の老朽化や建替・改修費用の見込みを踏まえると、今後の公共施設の整備についてはどのように進めていくべきだと考えますか。

「市民ニーズや人口規模に見合った内容に減らす」が最も多く 59.5%であり、次いで「施設は現状維持し、耐用年数が経過したものは同規模で建て替える」で 18.2%であった。

計画期間内における市民意識の変化として、「市民ニーズや人口希望等に見合った内容に減らす」の割合はほとんど変わっていないが、「必要最低限の施設だけ残し、大幅に施設を減らす」の割合が減少し、「施設は現状維持し、耐用年数が到来したものは同規模で建て替える」の割合が増加している。



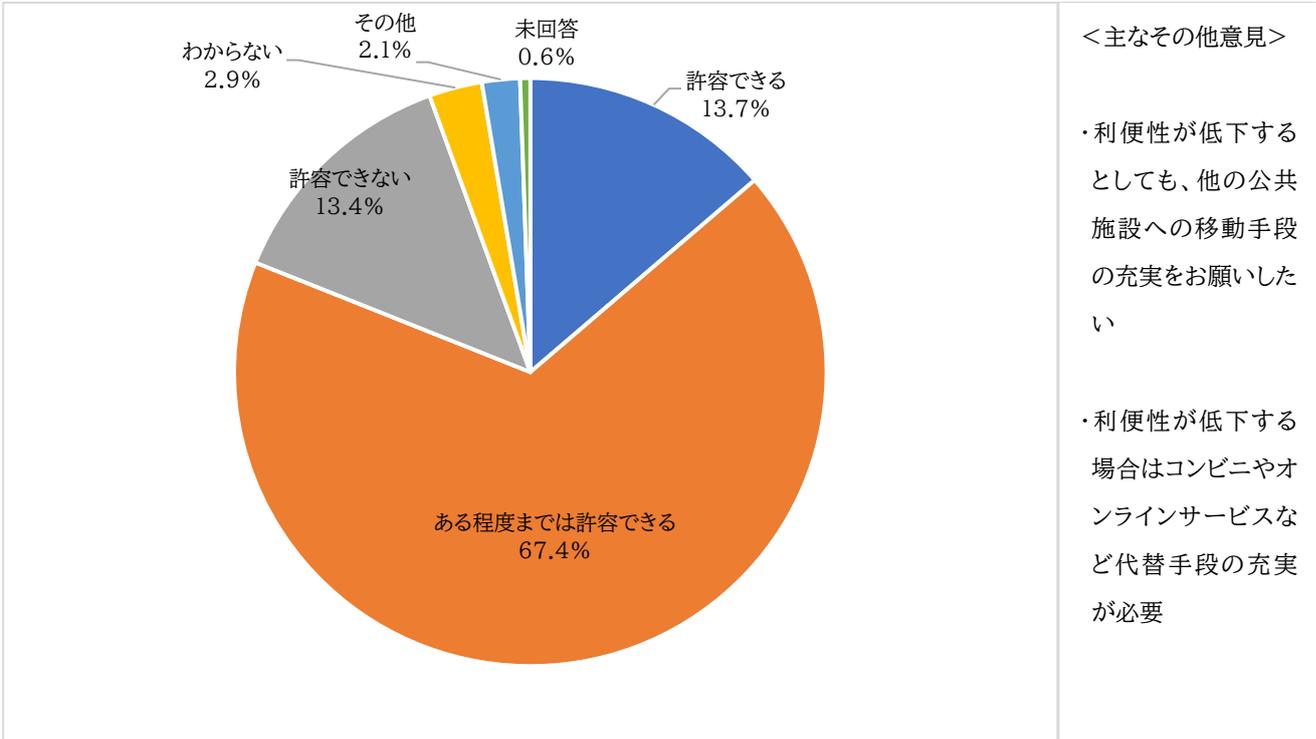
※ H27 アンケート結果



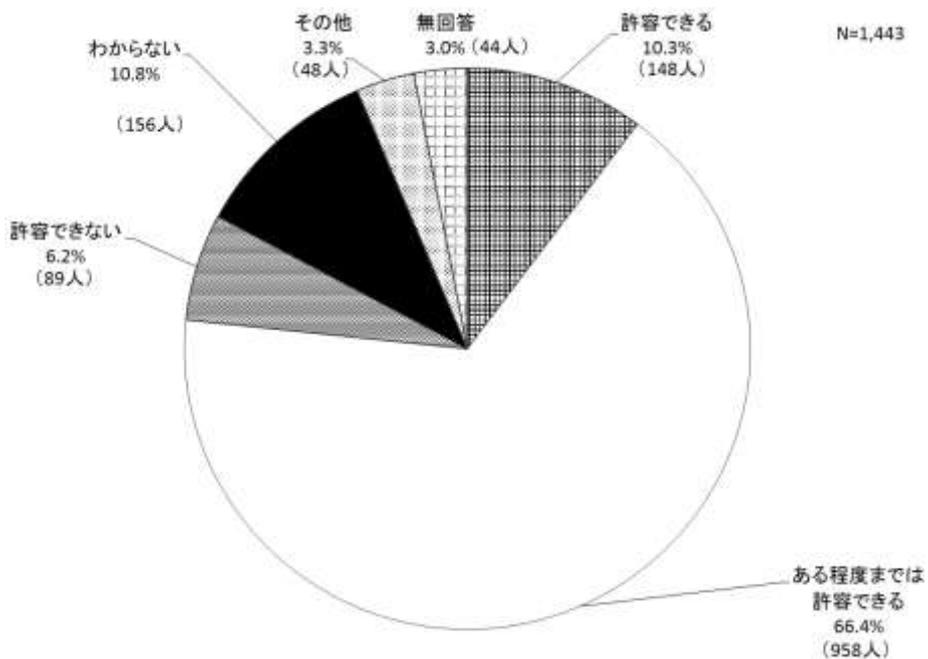
問2. 公共施設配置の適正化の取り組みを進めていくと、公共施設の統廃合等により、距離が遠くなるなど利便性が低下することも予想されますが、あなたはどのように考えますか。

「ある程度までは許容できる」が最も多く 67.4%であり、次いで「許容できる」が 13.7%、「許容できない」が 13.4%であった。

計画期間内における市民意識の変化として、「ある程度までは許容できる」の割合はほとんど変わっていないが、「許容できない」の割合が増加している一方、「わからない」の割合は減少している。



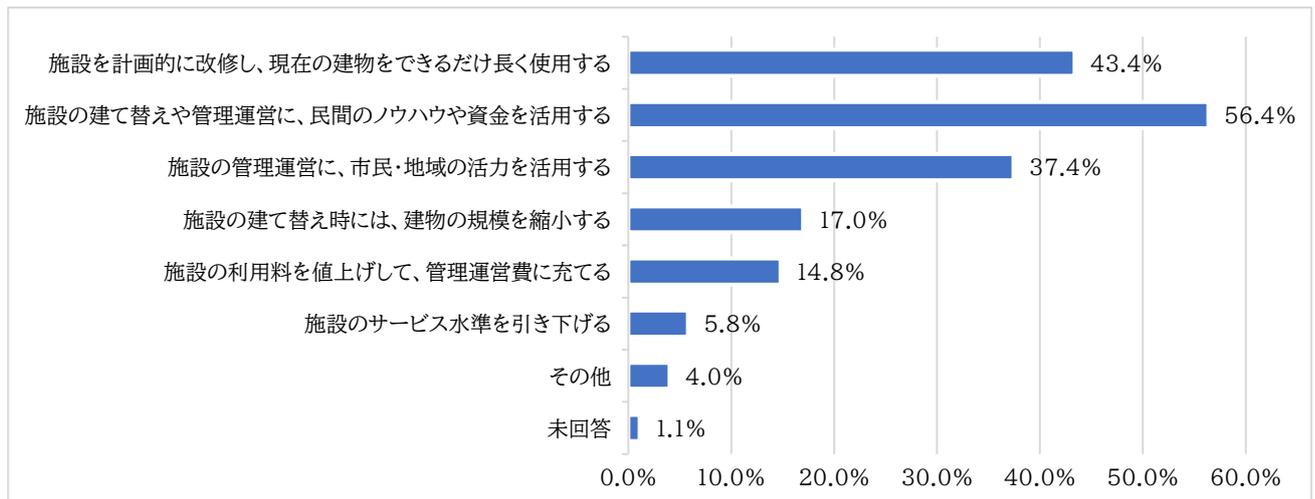
※ H27 アンケート結果



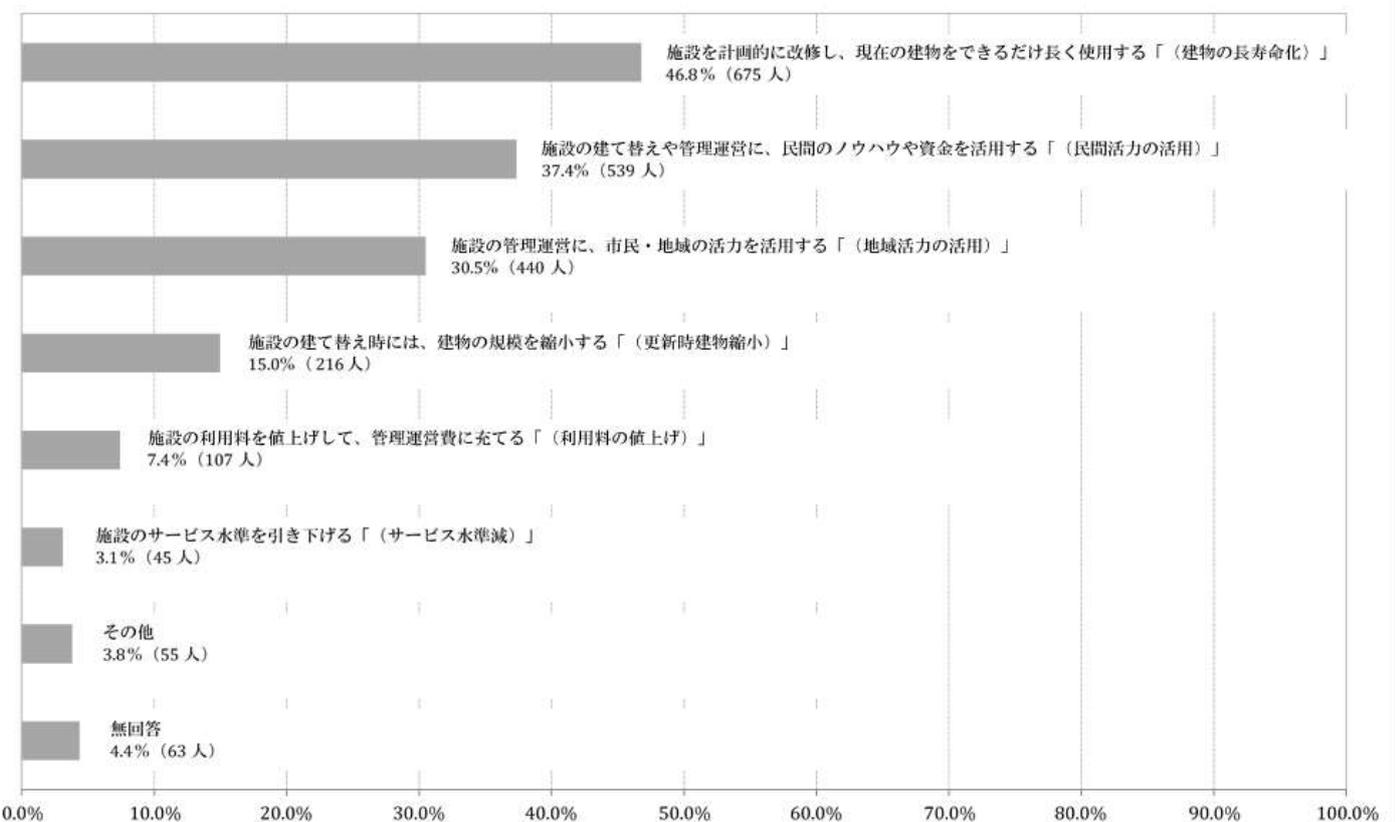
問3. 公共施設にかかる建替・改修費用や管理運営費の一層の削減に向けて、あなたはどのように取り組むべきだと思いますか。(複数回答可)

「施設の建て替えや管理運営に、民間のノウハウや資金を活用する」が最も多く56.4%であり、次いで「施設を計画的に改修し、現在の建物をできるだけ長く使用する」が43.4%であった。

計画期間内における市民意識の変化として、10年前に最も多かった「施設を計画的に改修し、現在の建物をできるだけ長く使用する」の割合が減少し、「施設の建て替えや管理運営に、民間のノウハウや資金を活用する」「施設の管理運営に、市民・地域の活力を活用する」の割合が増加している。



※ H27 アンケート結果

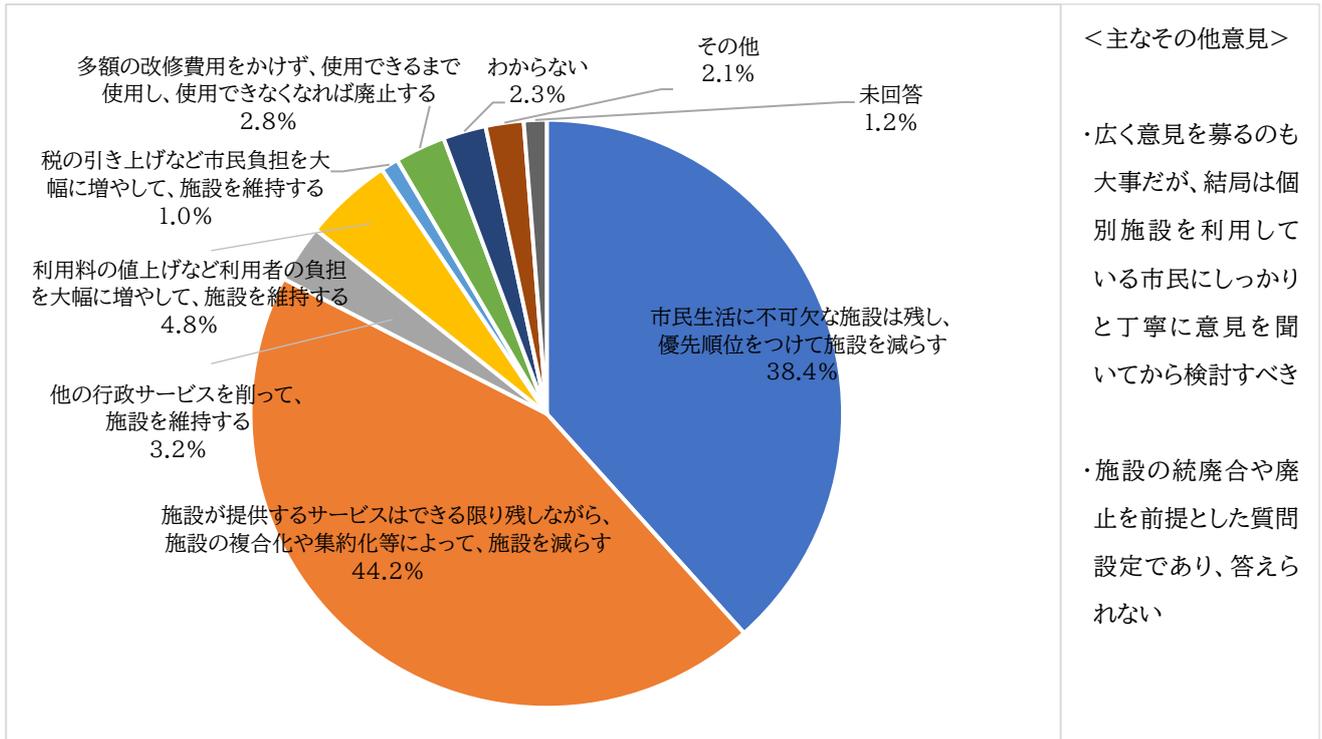


※ 割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

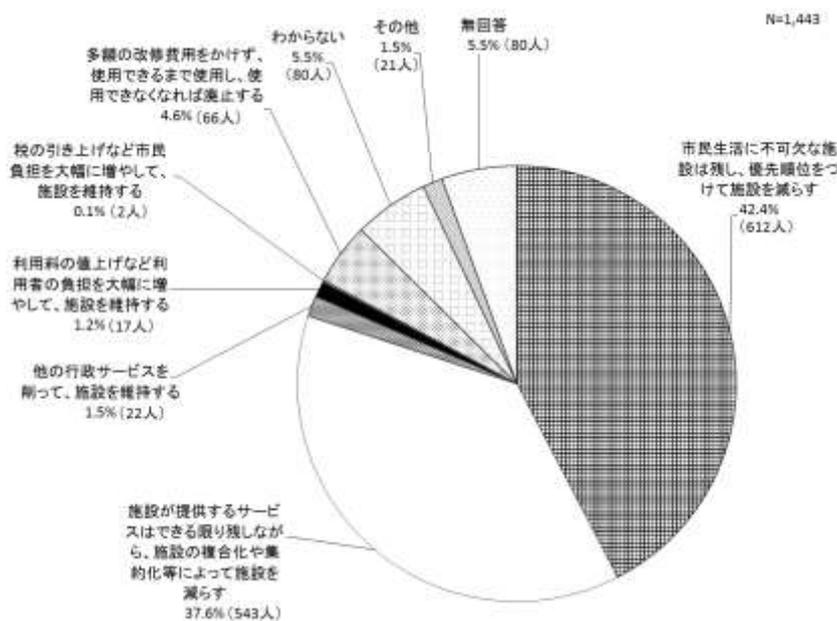
問4. 建替・改修費用の見込み等から、今ある公共施設をすべて維持することは困難であると考えられますが、あなたはどのように取り組むべきだと考えますか。

「施設が提供するサービスはできる限り残しながら、施設の複合化や集約化等によって、施設を減らす」が最も多く44.2%であり、次いで「市民生活に不可欠な施設は残し、優先順位をつけて施設を減らす」が38.4%であった。

計画期間内における市民意識の変化として、「施設が提供するサービスはできる限り残しながら、施設の複合化や集約化等によって、施設を減らす」の割合が増加し、「市民生活に不可欠な施設は残し、優先順位をつけて施設を減らす」の割合が減少しているが、大きな変化は生じていない。



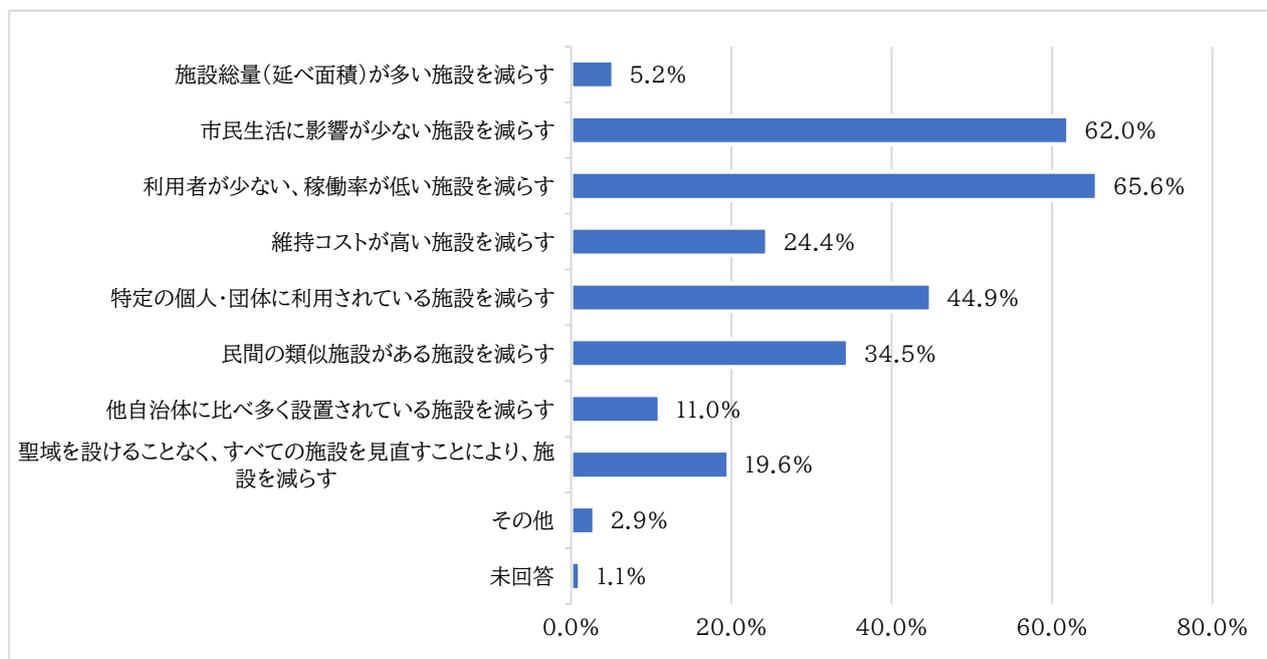
※ H27 アンケート結果



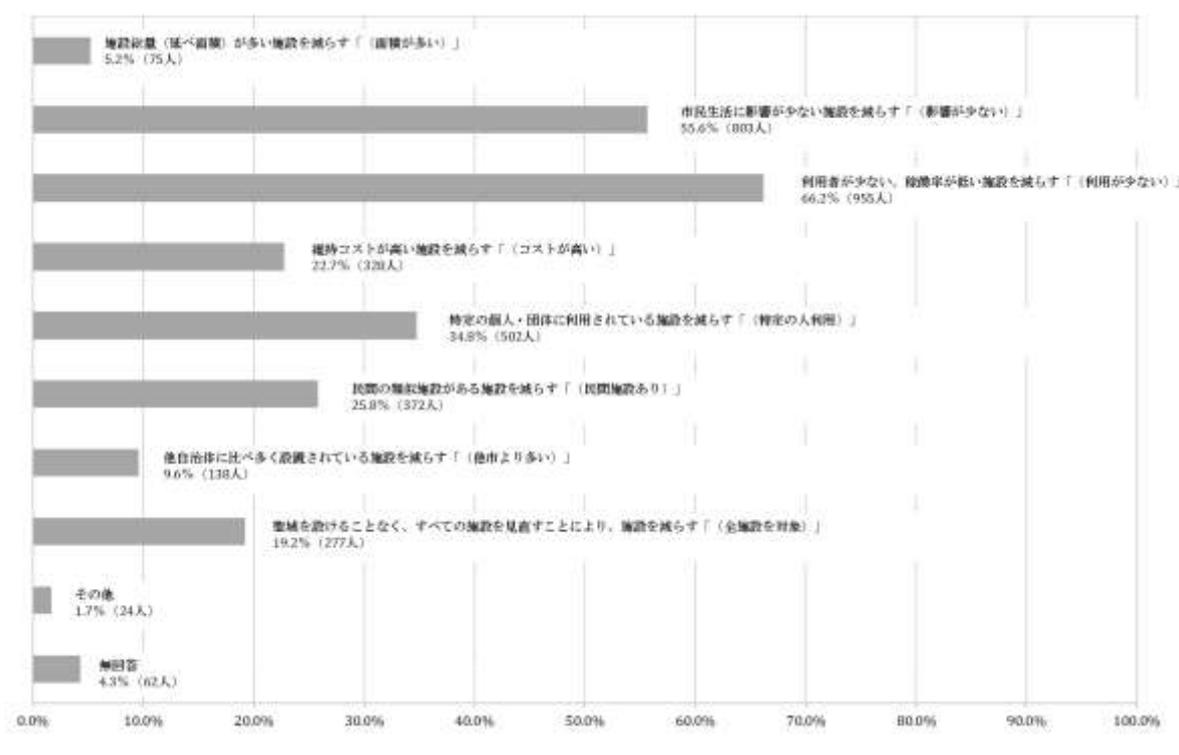
問5. 公共施設を減らしていかなければならないとすれば、どのような公共施設を減らすべきだと考えますか。(複数回答可)

「利用者が少ない、稼働率が低い施設を減らす」が最も多く 65.6%であり、次いで「市民生活に影響が少ない施設を減らす」が 62.0%であった。

計画期間内における市民意識の変化として、「特定の個人・団体に利用されている施設を減らす」や「民間の類似施設がある施設を減らす」が増加している。



※ H27 アンケート結果

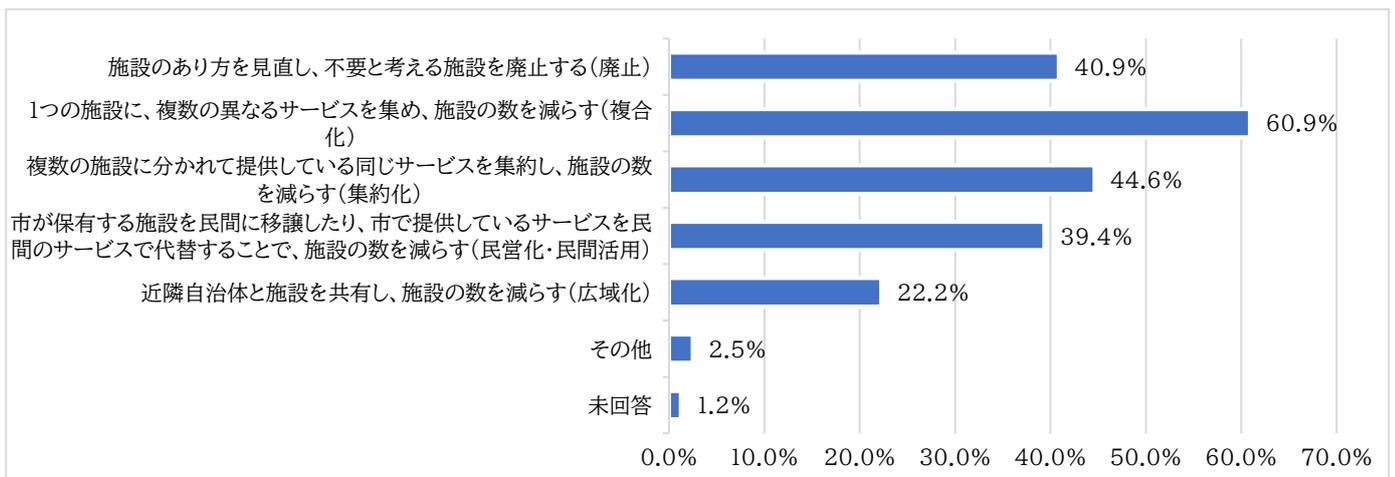


※ 割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数で表しており、複数回答のため合計は 100%にならない。

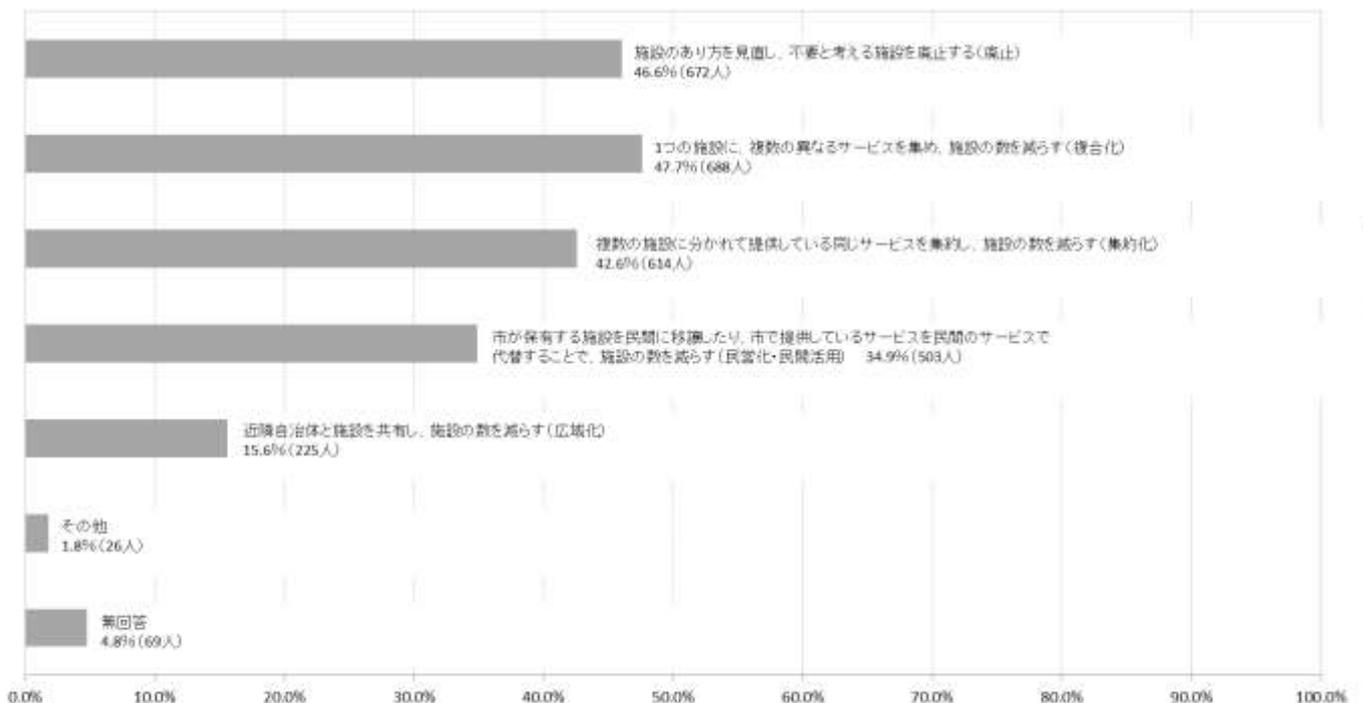
問6. 公共施設を減らすために、あなたはどのような手法で取り組むべきだと考えますか。(複数回答可)

「1つの施設に、複数の異なるサービスを集め、施設の数減らす(複合化)」が最も多く60.9%であり、次いで「複数の施設に分かれて提供している同じサービスを集約し、施設の数減らす(集約化)」が44.6%であった。

計画期間内における市民意識の変化として、「施設のあり方を見直し、不要と考える施設を廃止する(廃止)」の割合が減少しているが、「1つの施設に、複数の異なるサービスを集め、施設の数減らす(複合化)」 「複数の施設に分かれて提供している同じサービスを集約し、施設の数減らす(集約化)」や「市が保有する施設を民間に移譲したり、市で提供しているサービスを民間のサービスで代替することで、施設の数減らす(民営化・民間活用)」など、それ以外の項目の割合が増加している。



※ H27 アンケート結果

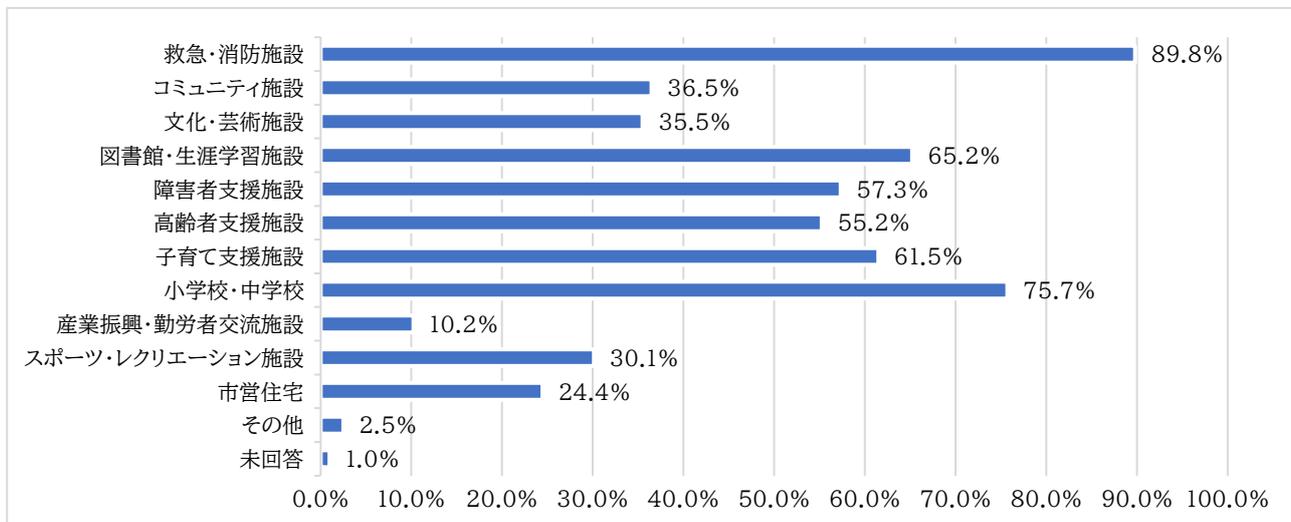


※ 割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

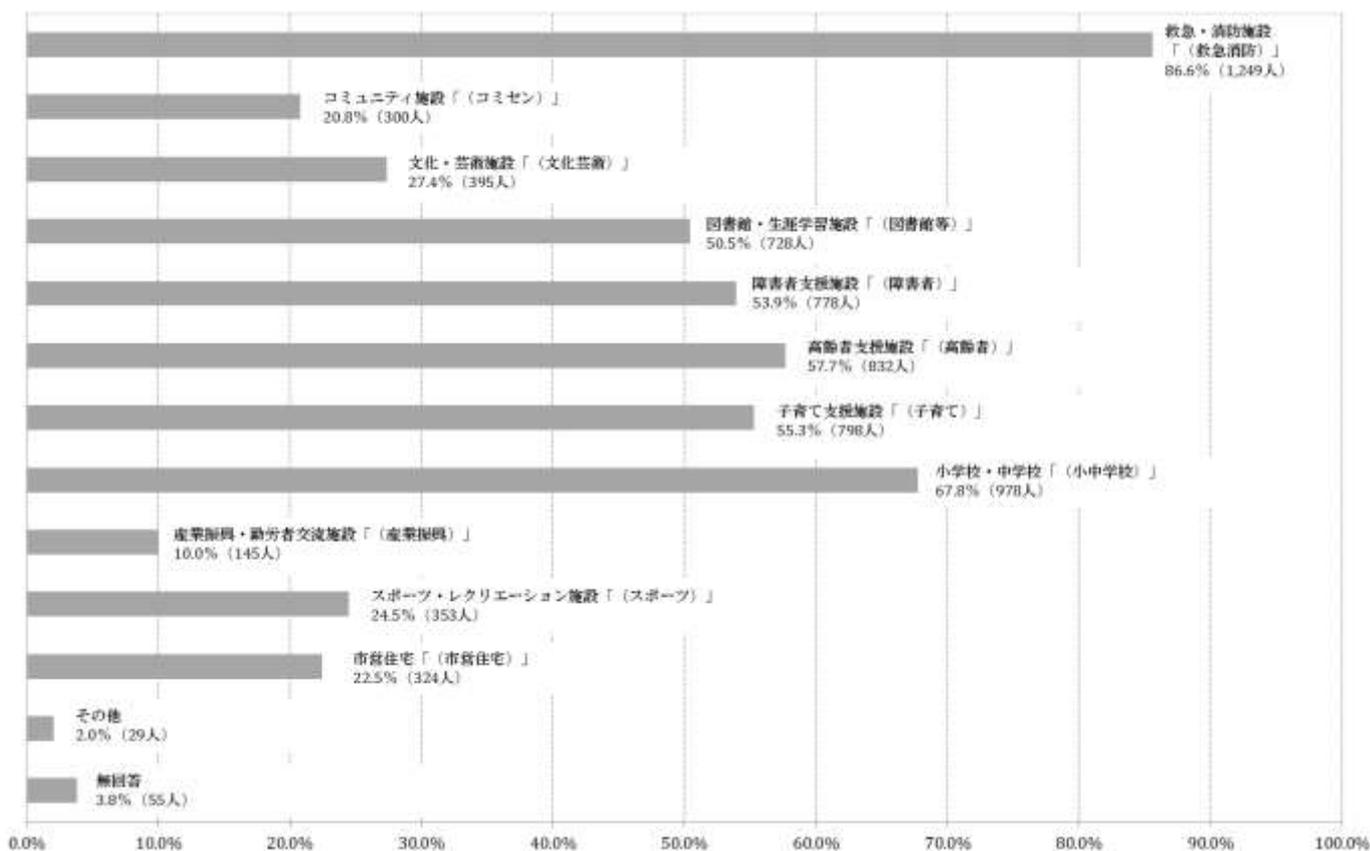
問7. 今後も引き続き市が保有すべき公共施設は、どのような公共施設だと考えますか。(複数回答可)

「救急・消防施設」が最も多く89.8%であり、次いで「小学校・中学校」が75.7%であった。

計画期間内における市民意識の変化として、全ての施設について割合が増加している。



※ H27 アンケート結果



※ 割合は、項目ごとの回答者数÷総回答者数で表しており、複数回答のため合計は100%にならない。

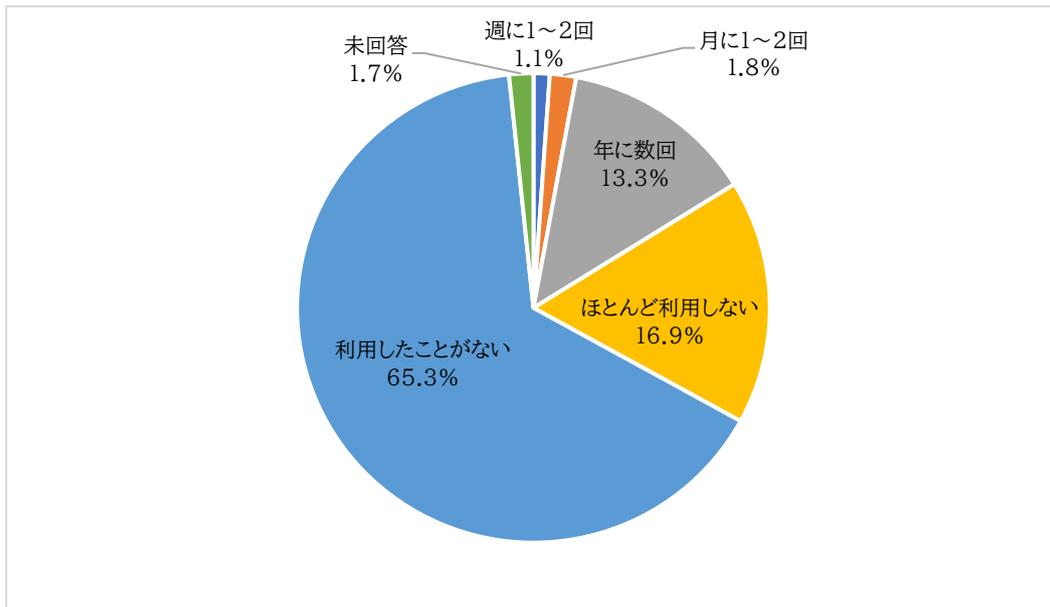
4. 各項目の集計結果（個別施設の利用状況や今後のあり方）

(1)サービスコーナー（明舞・高丘・江井島）

問1. 公共施設についてどれくらいの頻度で利用しますか。

①全体集計

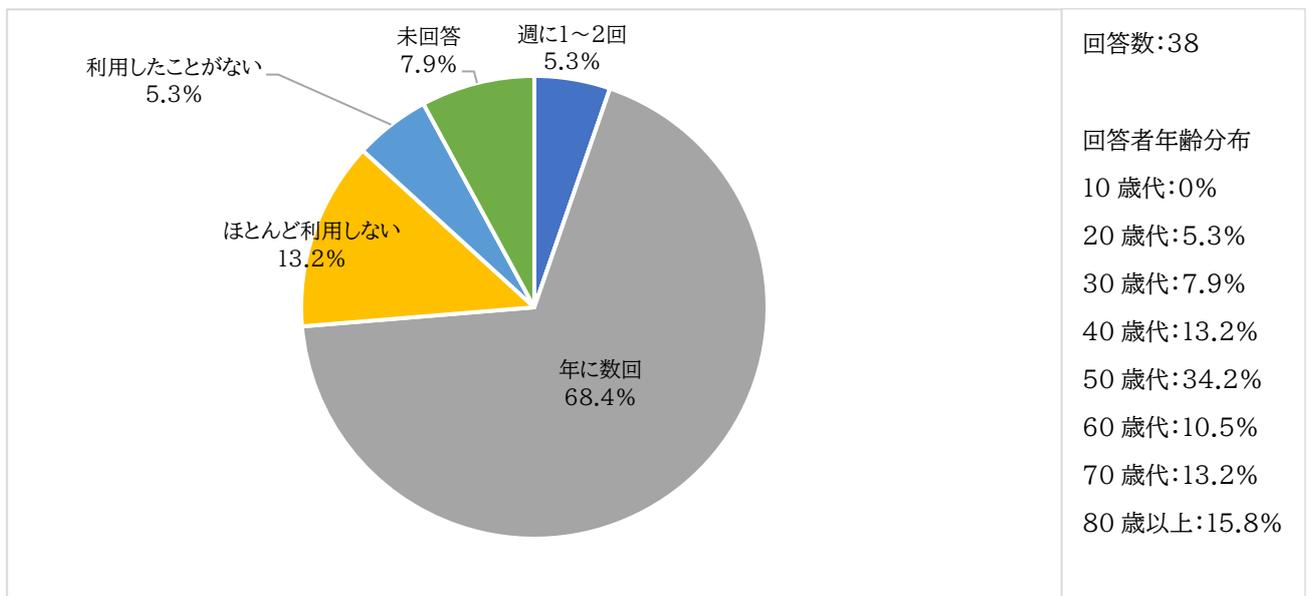
市全体における3サービスコーナーの利用頻度は、「ほとんど利用しない」と「利用したことがない」が全体の8割以上の割合となっている。



②地区別集計（施設が設置されている小学校区単位を集計）

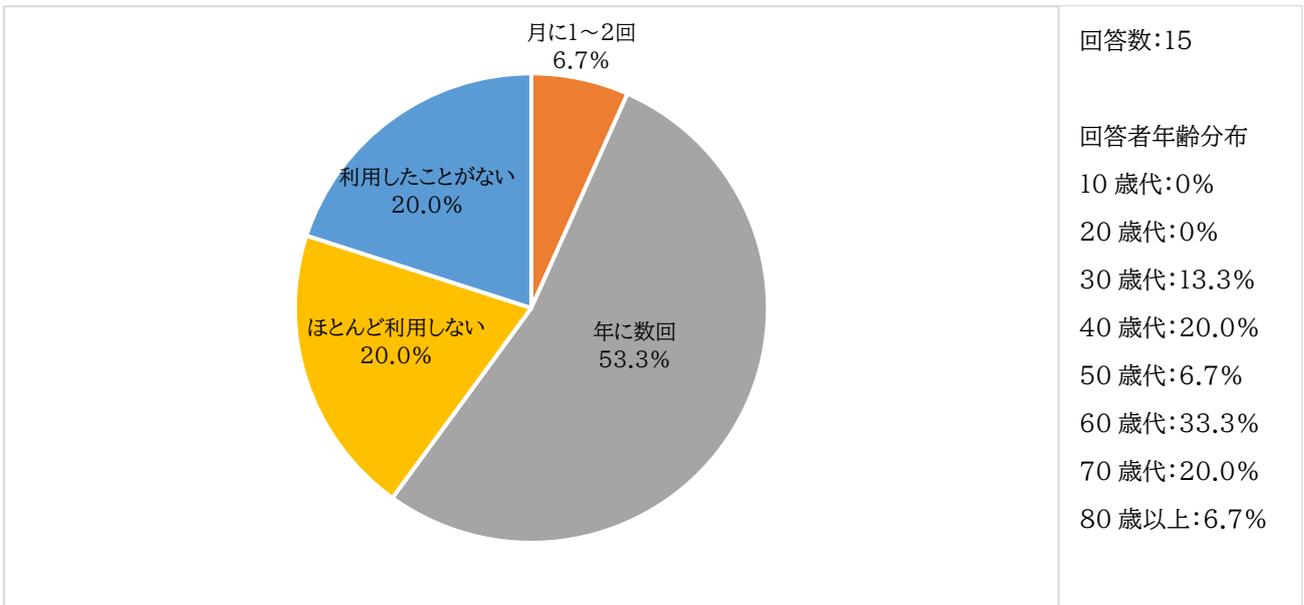
・明舞サービスコーナー

松が丘小学校区における利用頻度は、「年に数回」と「週に1~2回」が全体の7割以上の割合となっている。



・高丘サービスコーナー

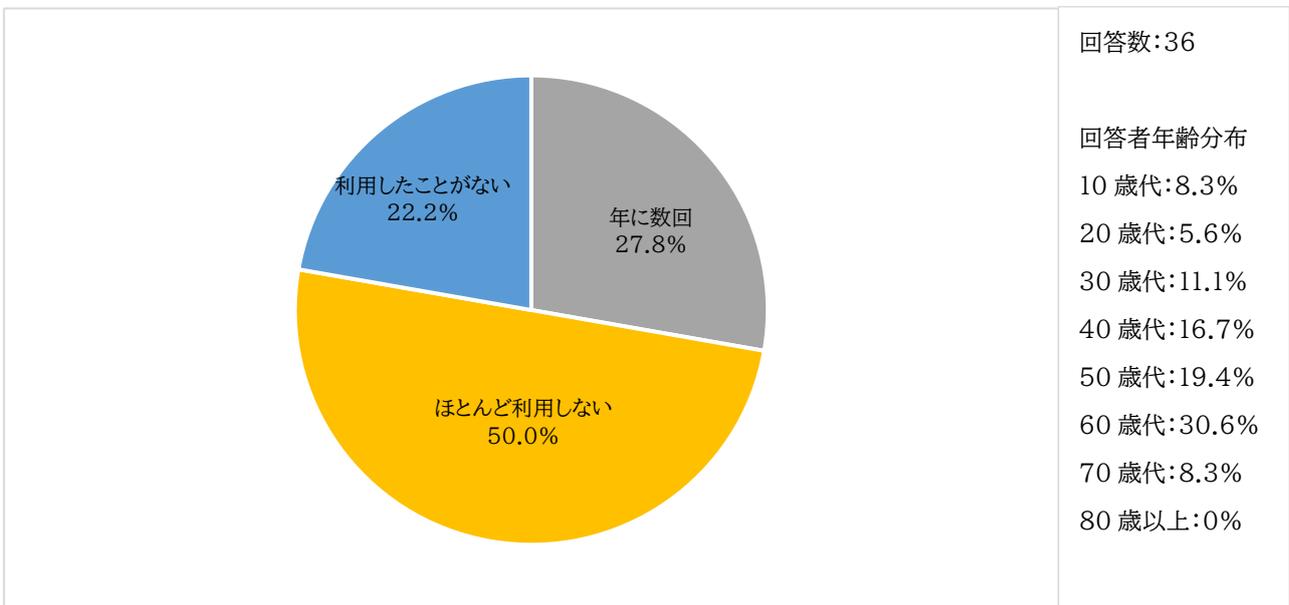
高丘東小学校区における利用頻度は、「年に数回」と「月に1～2回」が全体の6割の割合となっている。



・江井島サービスコーナー

江井島小学校区における利用頻度は、「ほとんど利用しない」と「利用したことがない」が全体の7割以上の割合となっている。

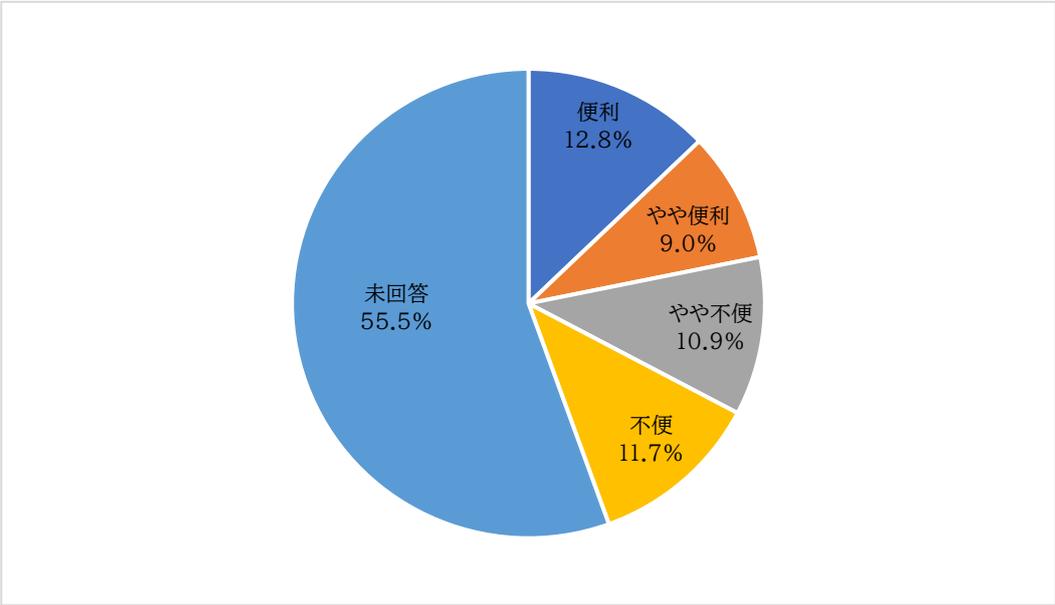
また、明舞、高丘と比較して比較的若い世代がアンケートに回答いただいている特徴がある。



問2. 利用したことがある公共施設について、どのように感じましたか。立地(アクセス等)

①全体集計

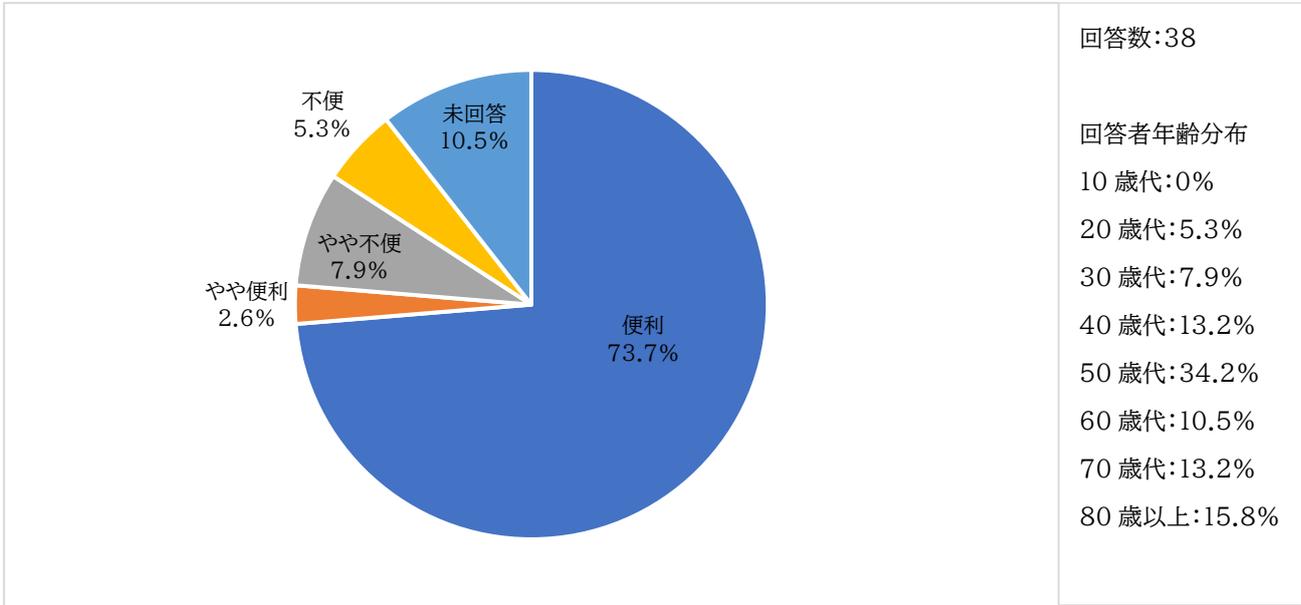
市全体における3サービスコーナーの立地(アクセス等)について、「便利」「やや便利」「やや不便」「不便」の割合はほぼ同じ水準となっている。



②地区別集計(施設が設置されている小学校区単位を集計)

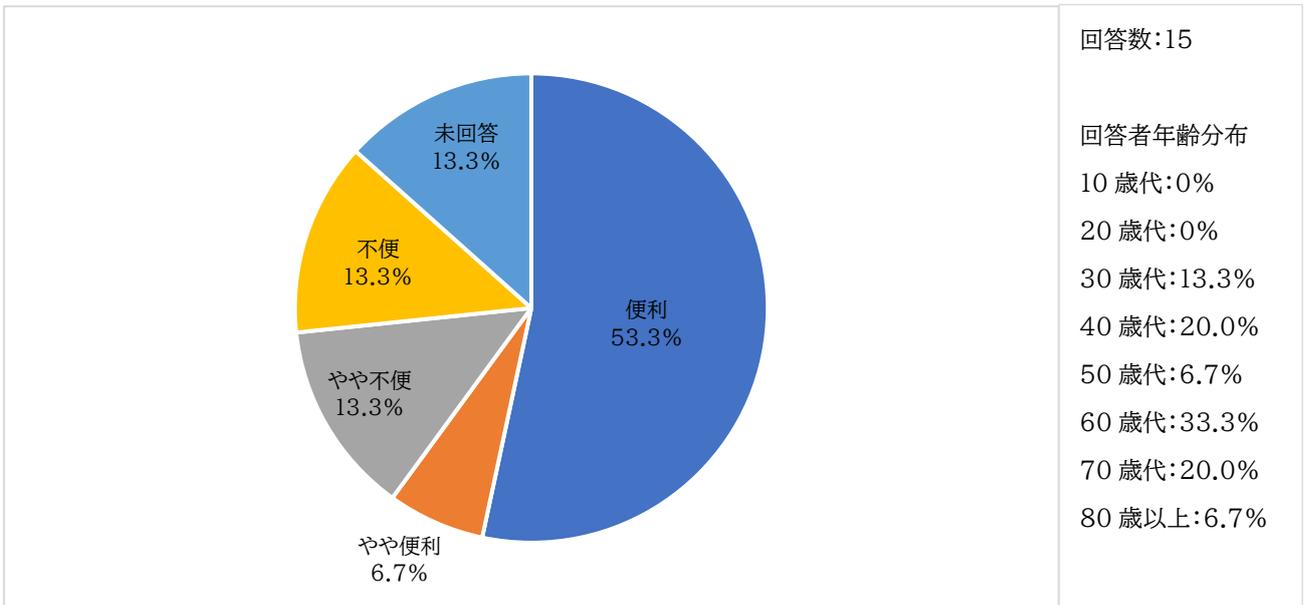
・明舞サービスコーナー

松が丘小学校区においては、「便利」と「やや便利」が全体の7割以上の割合となっている。



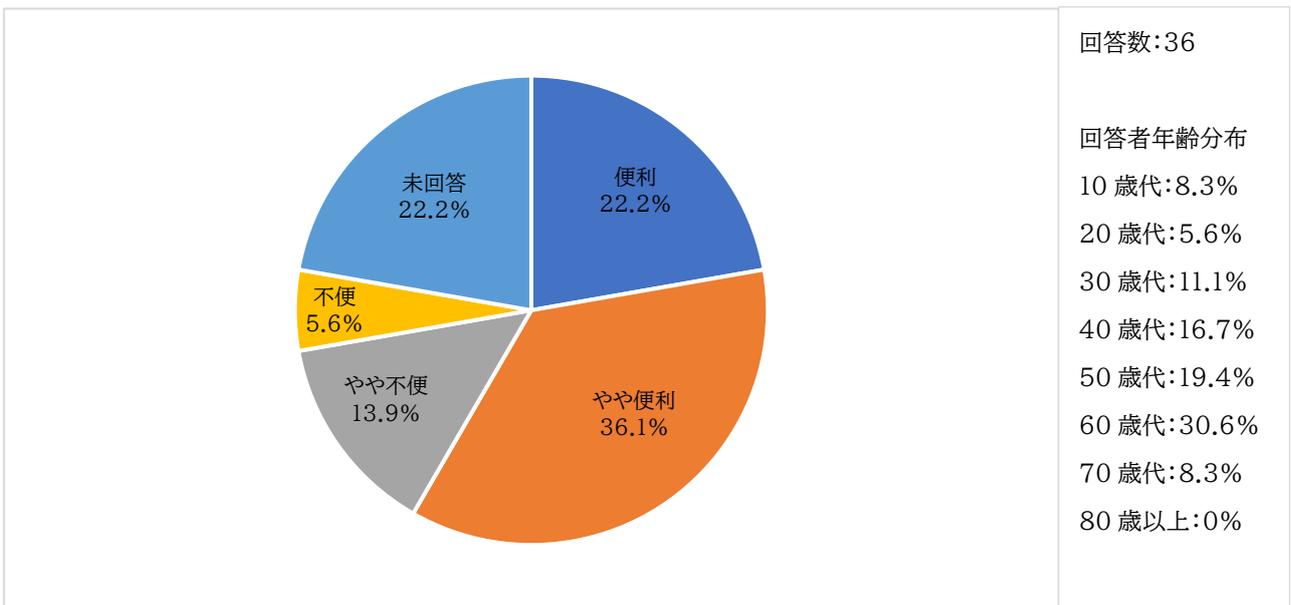
・高丘サービスコーナー

高丘東小学校区においては、「便利」と「やや便利」が全体の6割の割合となっている。



・江井島サービスコーナー

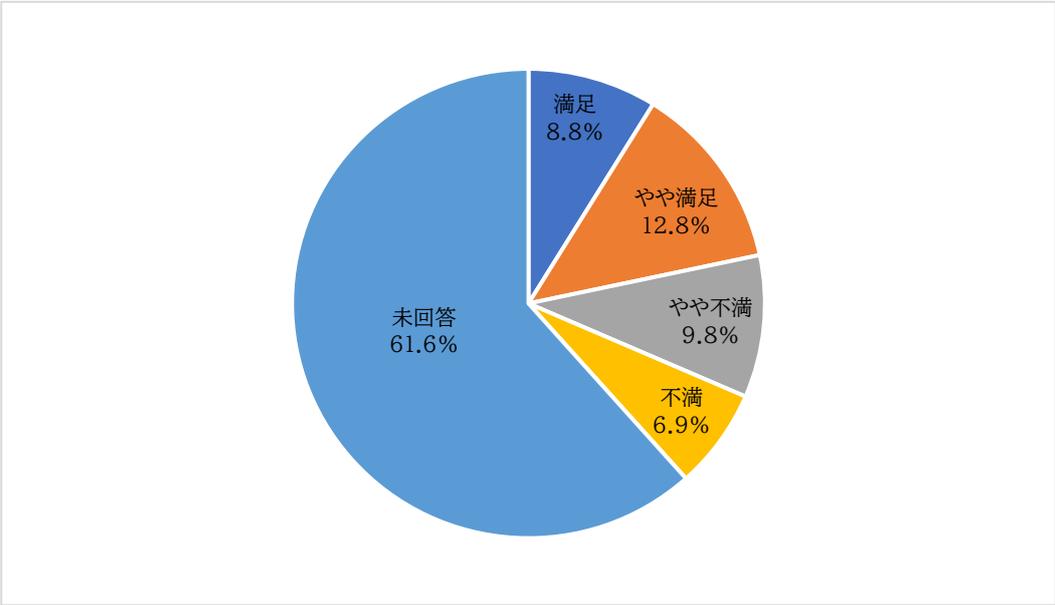
江井島小学校区においては、「便利」と「やや便利」が6割の割合となっている。



問2. 利用したことがある公共施設について、どのように感じましたか。施設状況(設備等)

①全体集計

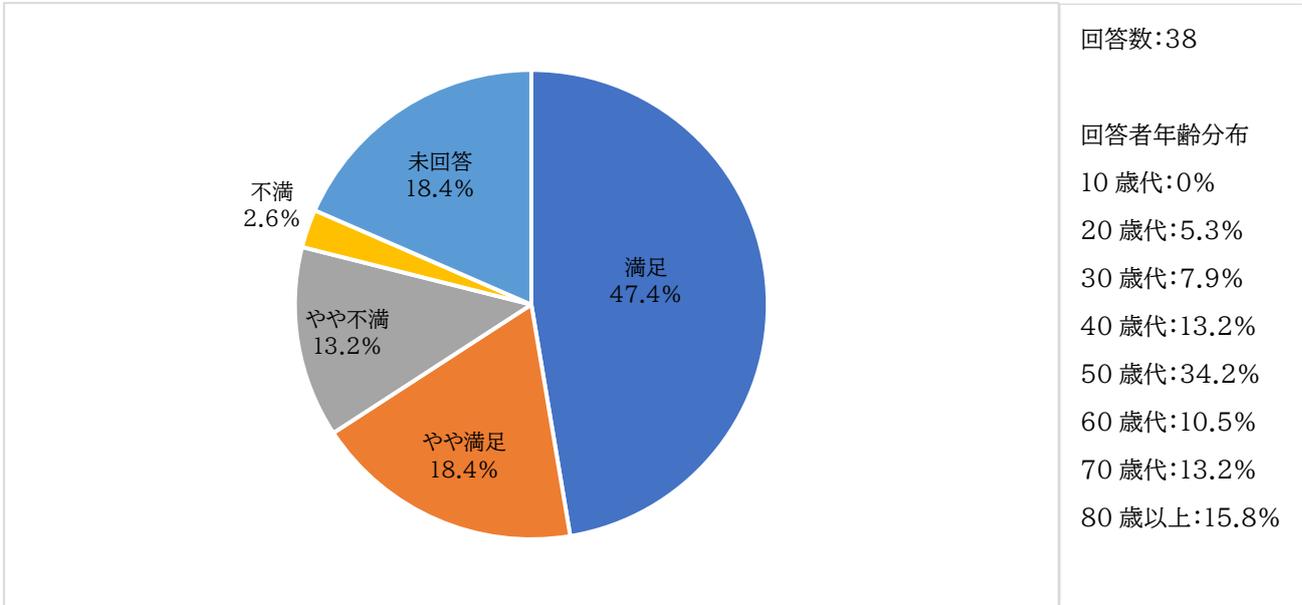
市全体における3サービスコーナーの施設状況(設備等)について、「満足」「やや満足」の割合が「やや不満」「不満」の割合を若干上回っている。



②地区別集計(施設が設置されている小学校区単位を集計)

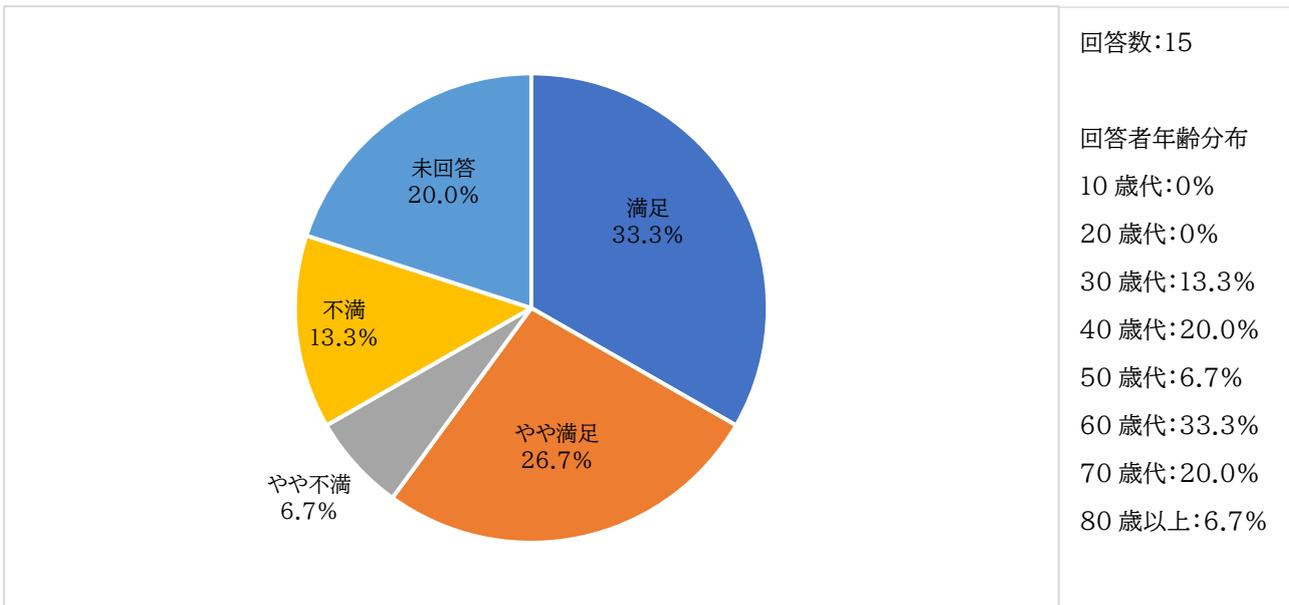
・明舞サービスコーナー

松が丘小学校区においては、「満足」と「やや満足」が全体の6割以上の割合となっている。



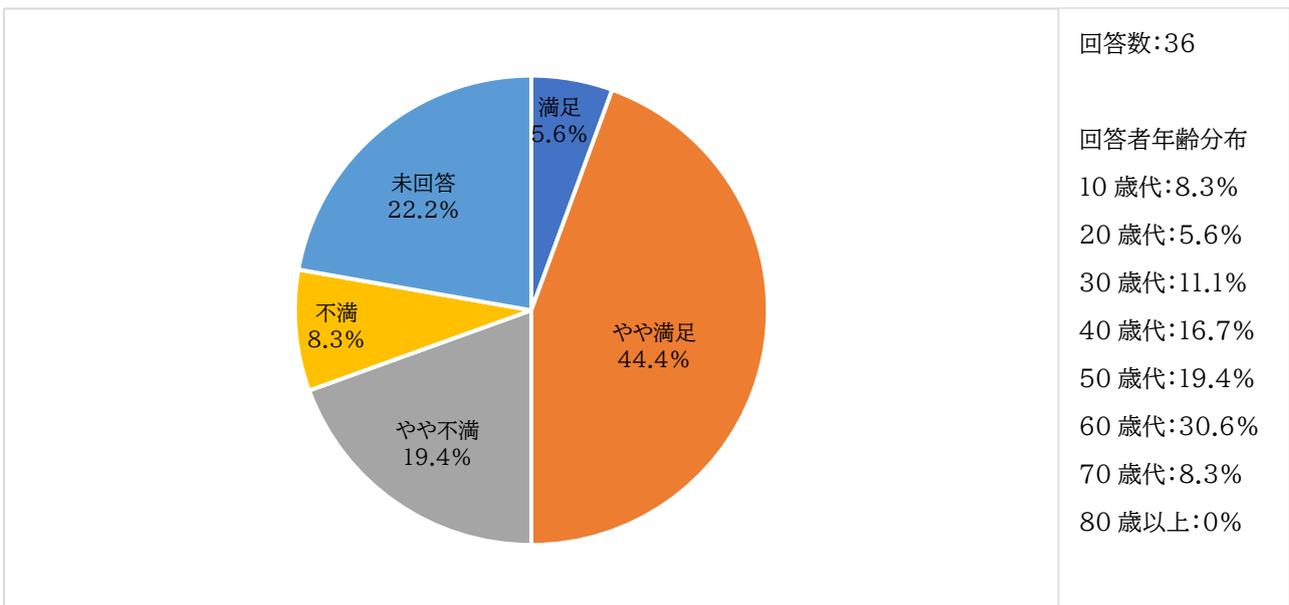
・高丘サービスコーナー

高丘東小学校区においては、「満足」と「やや満足」が全体の6割の割合となっている。



・江井島サービスコーナー

江井島小学校区においては、「満足」と「やや満足」が全体の5割の割合となっている。



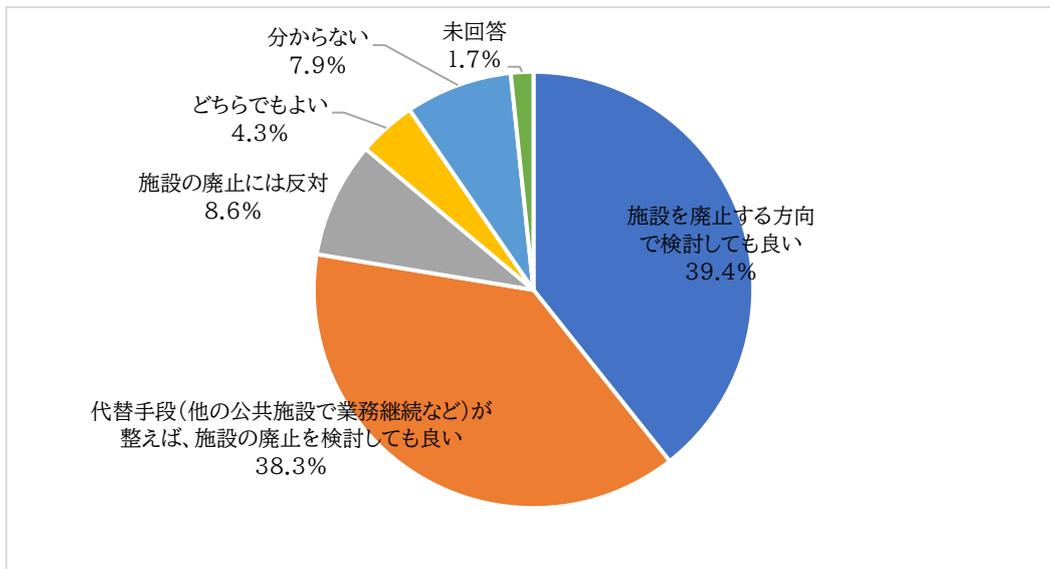
問3.「明石市公共施設配置適正化計画」等において、明舞、高丘及び江井島の3サービスコーナーは廃止を含め施設のあり方について検討することとなっており、令和4年10月より開所日を週5日⇒週2日に変更しています。

なお、令和4年10月よりマイナンバーカードを用いて住民票の写しや印鑑登録証明書などの各種証明書をコンビニで取得できるサービスを始めています。

今後のあり方について、あなたはどのように考えますか。

①全体集計

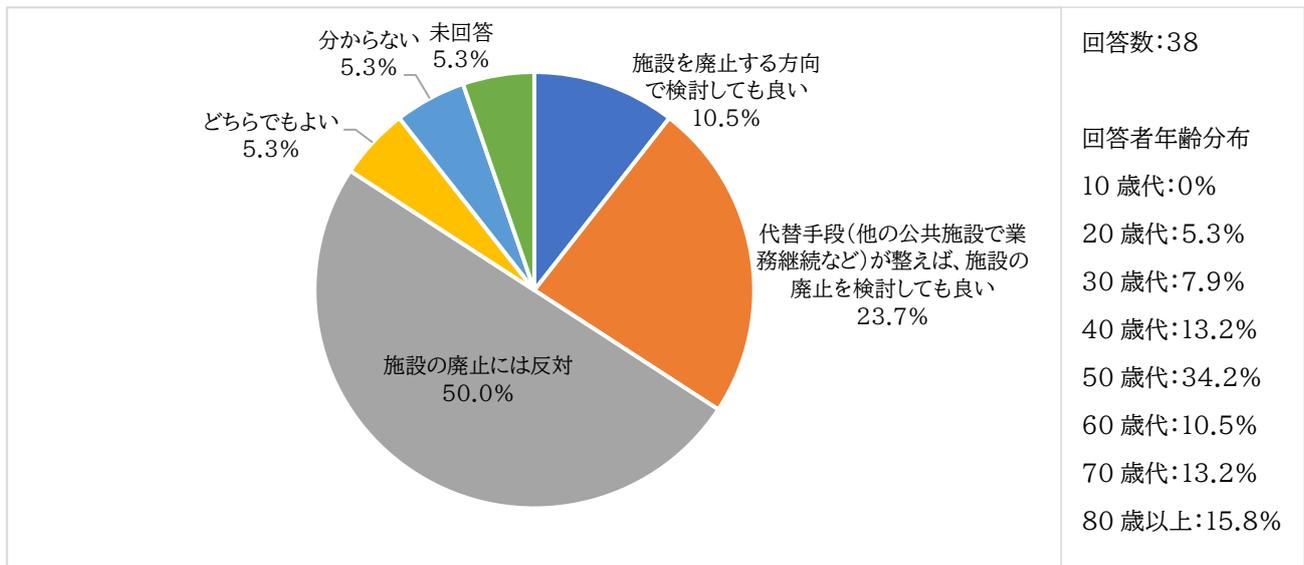
市全体における3サービスコーナーの今後のあり方について、「施設を廃止する方向で検討しても良い」と「代替手段(他の公共施設で業務継続など)が整えば、施設の廃止を検討しても良い」が全体の7割以上の割合となっている。



②地区別集計(施設が設置されている小学校区単位を集計)

・明舞サービスコーナー

松が丘小学校区においては、「施設の廃止には反対」が全体の5割の割合となっている。



回答数:38

回答者年齢分布

10歳代:0%

20歳代:5.3%

30歳代:7.9%

40歳代:13.2%

50歳代:34.2%

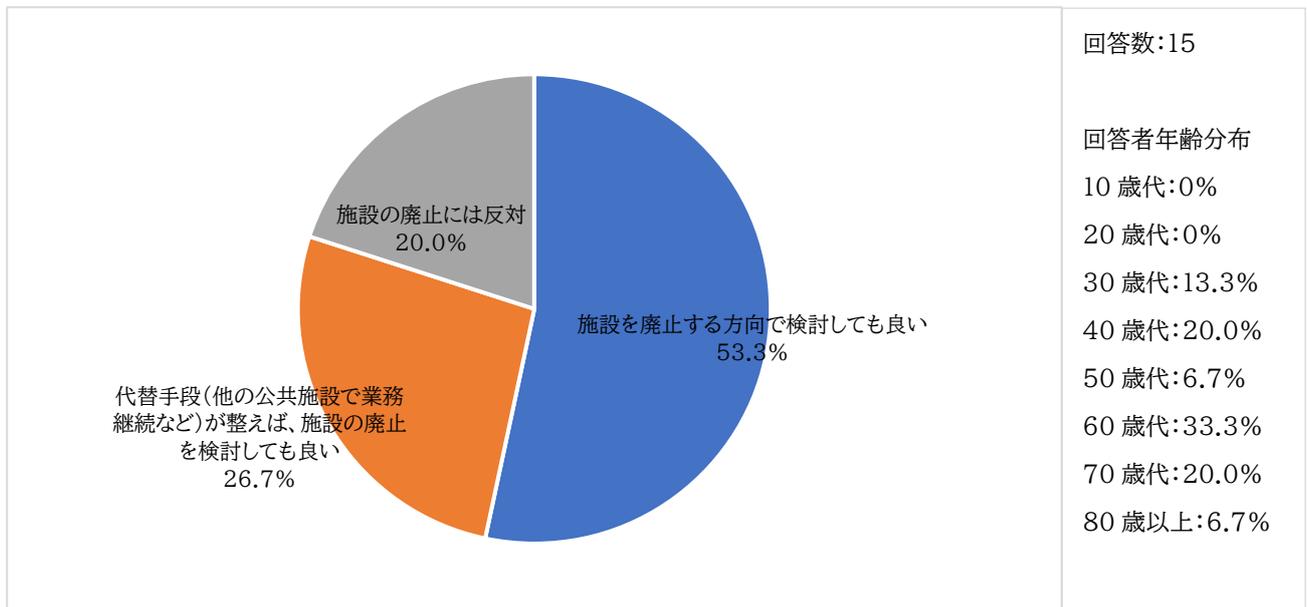
60歳代:10.5%

70歳代:13.2%

80歳以上:15.8%

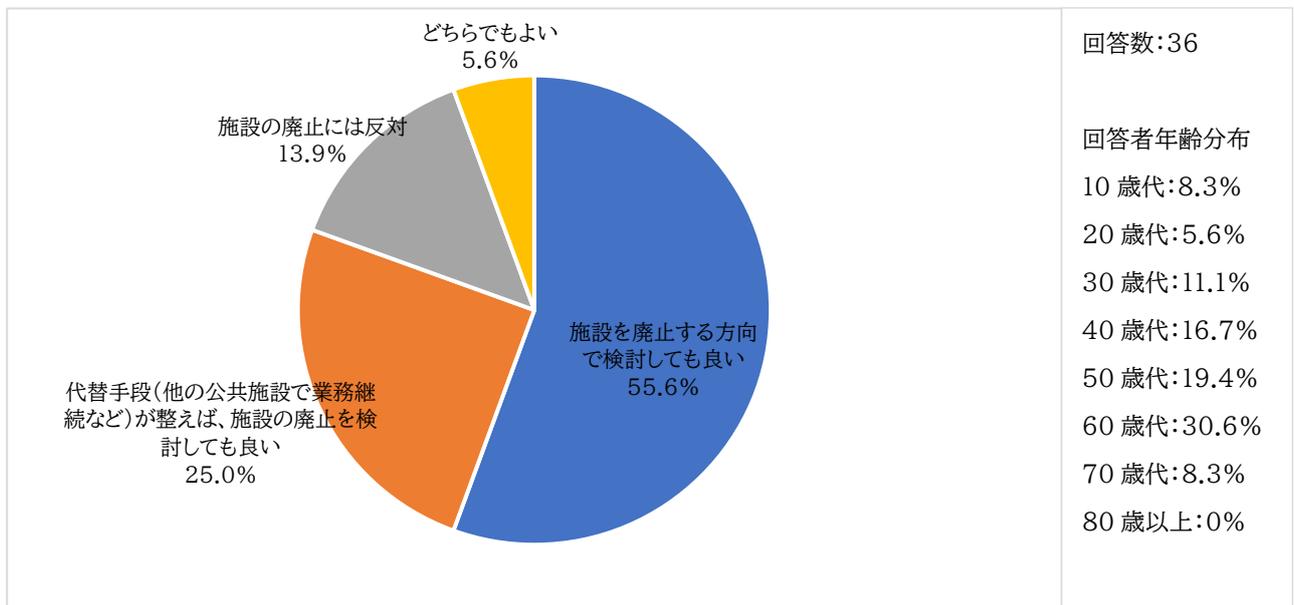
・高丘サービスコーナー

高丘東小学校区においては、「施設を廃止する方向で検討しても良い」と「代替手段(他の公共施設で業務継続など)が整えば、施設の廃止を検討しても良い」が全体の8割の割合となっている。



・江井島サービスコーナー

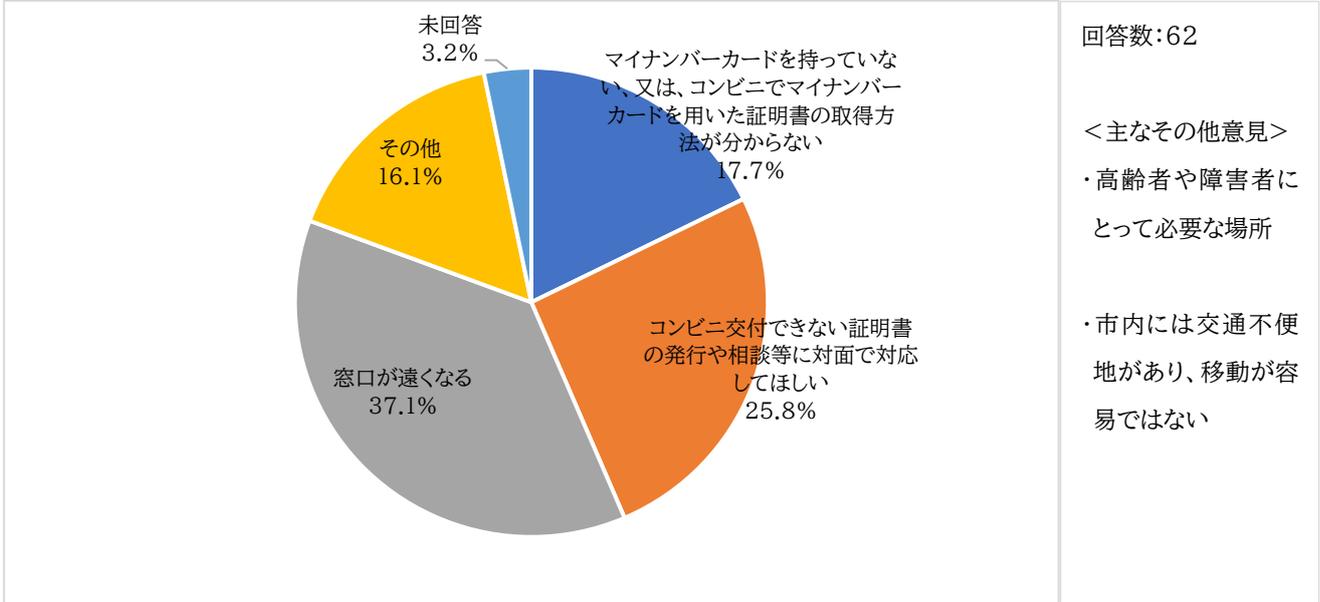
江井島小学校区においては、「施設を廃止する方向で検討しても良い」と「代替手段(他の公共施設で業務継続など)が整えば、施設の廃止を検討しても良い」が全体の8割の割合となっている。



問4. 問3で「施設の廃止には反対」と答えた方について、施設の継続を希望する理由について、あなたはどのように考えますか。

①全体集計

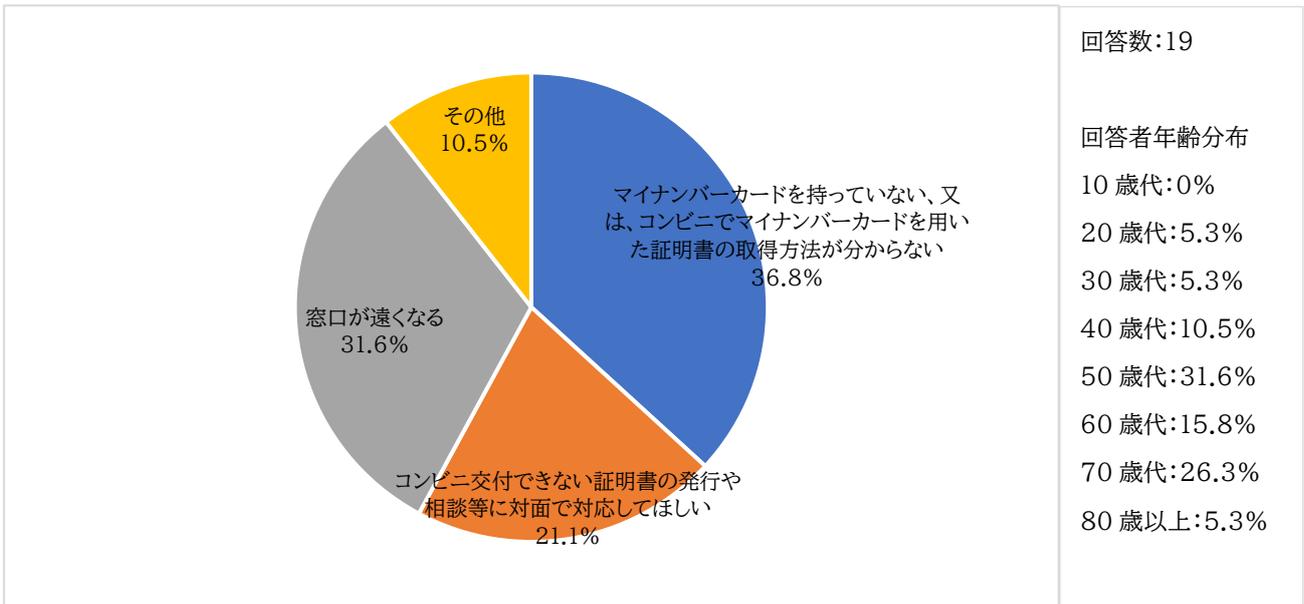
市全体における3サービスコーナーの施設の廃止に反対の理由について、「窓口が遠くなる」が最も多く37.1%の割合であり、次いで「コンビニ交付できない証明書の発行や相談等に対面に対応してほしい」が25.8%の割合であった。



②地区別集計(施設が設置されている小学校区単位を集計)

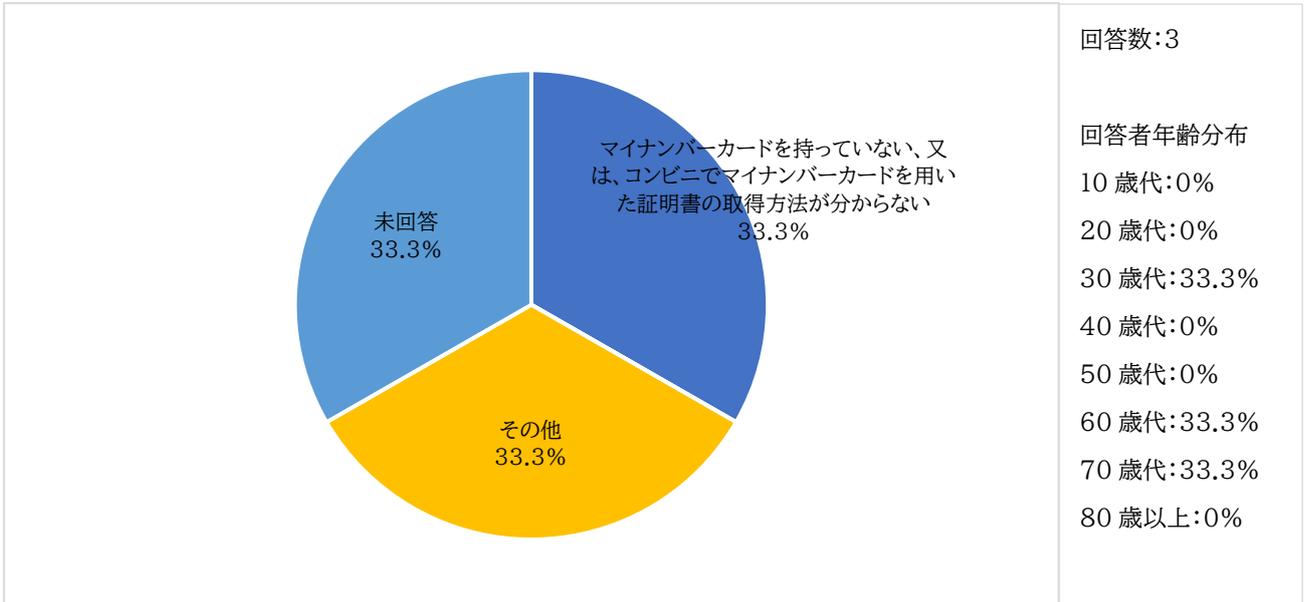
・明舞サービスコーナー

松が丘小学校区においては、「マイナンバーカードを持っていない、又は、コンビニでマイナンバーカードを用いた証明書の取得方法が分からない」が最も多く36.8%の割合であり、次いで「窓口が遠くなる」が31.6%の割合となっている。



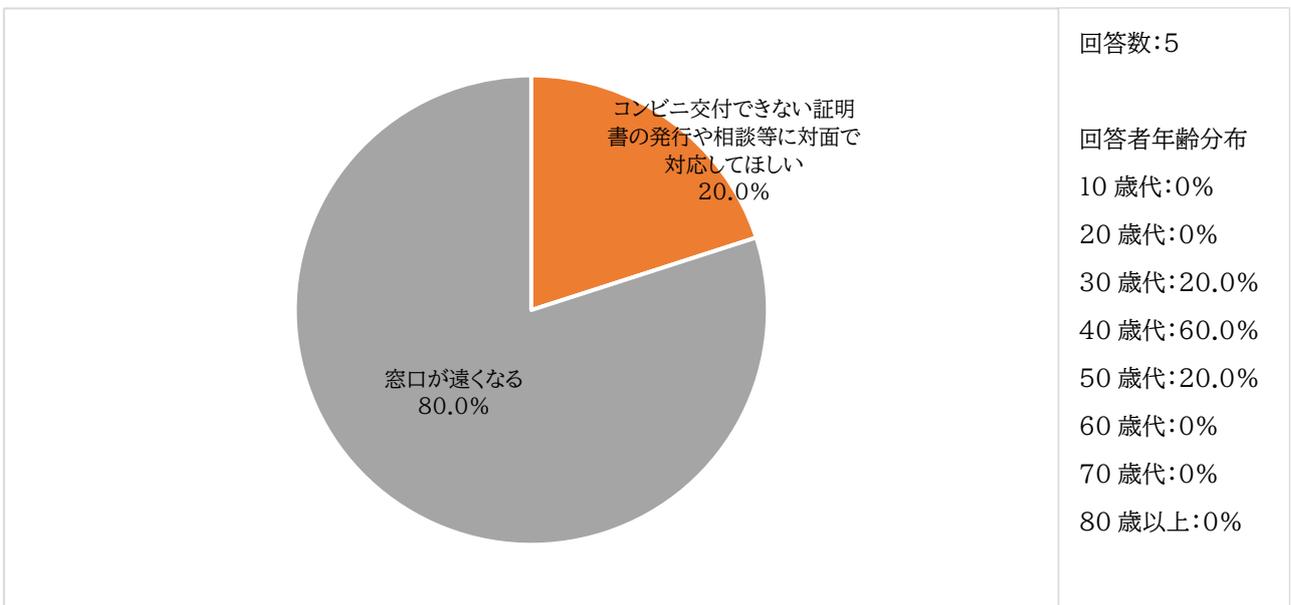
・高丘サービスコーナー

高丘東小学校区においては、「マイナンバーカードを持っていない、又は、コンビニでマイナンバーカードを用いた証明書の取得方法が分からない」と「その他(高丘地区はバスの本数も減っている交通不便地であり施設は必要)」が 33.3%の割合となっている。



・江井島サービスコーナー

江井島小学校区においては、「窓口が遠くなる」が最も多く 80.0%の割合となっている。



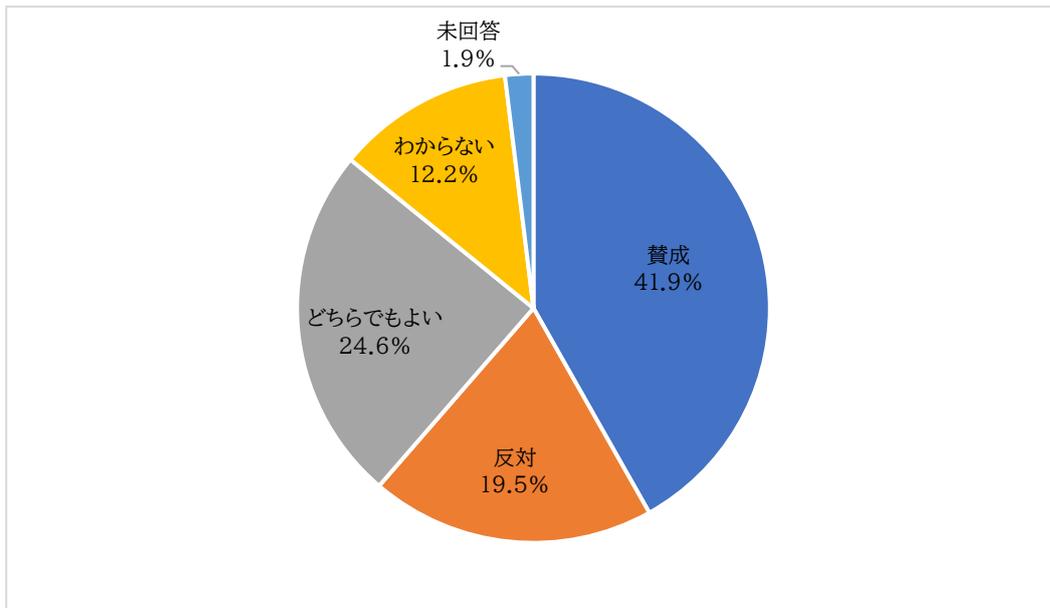
(2)あかし斎場旅立ちの丘

問5.「明石市公共施設配置適正化計画」等において、あかし斎場旅立ちの丘は葬祭式場について施設の民営化(民間に施設を売却し、運営を引き継ぐ)を検討することとなっています。

葬祭式場を民営化することについてあなたはどのように考えますか。

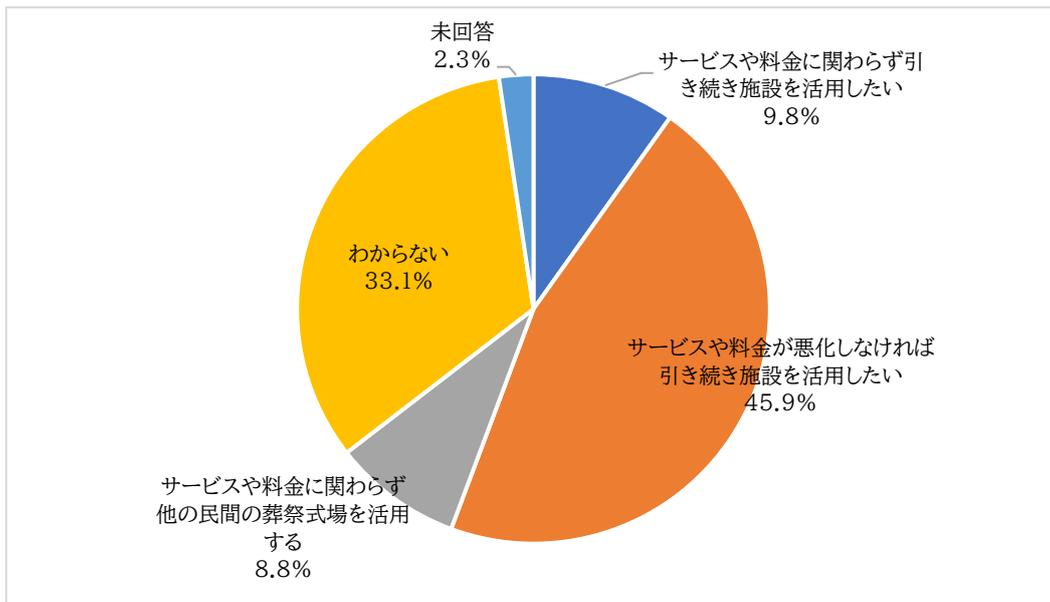
※火葬場は引き続き市が運営していく予定です。

「賛成」が最も多く41.9%であり、次いで「どちらでもよい」が24.6%であった。



問6. 仮に葬祭式場を民営化した場合、引き続き施設を利用しますか。

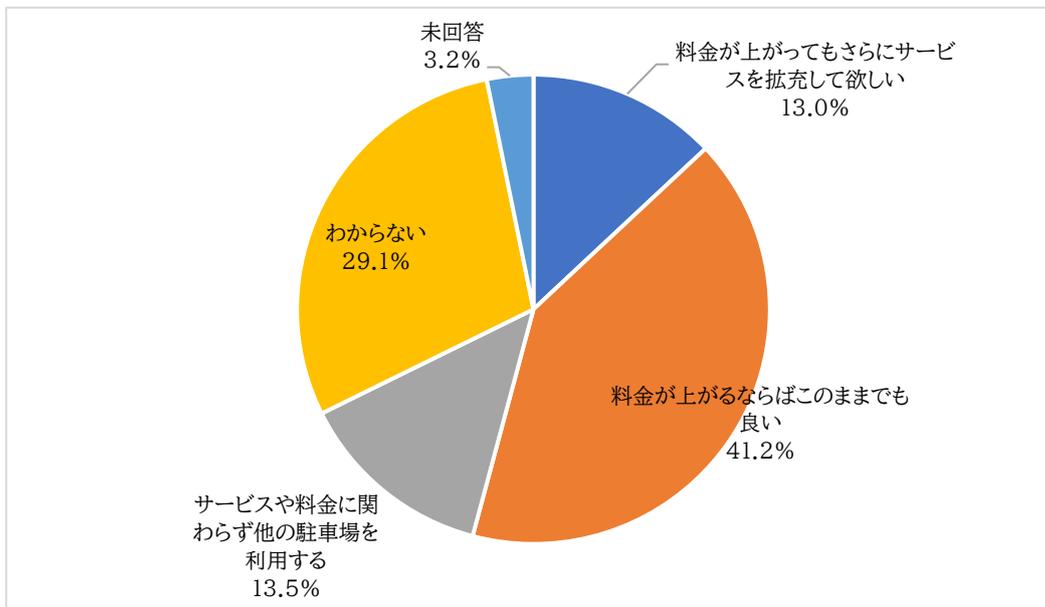
「サービスや料金が悪化しなければ引き続き施設を活用したい」が最も多く45.9%であり、次いで「わからない」が33.1%であった。



(3)明石駅前立体駐車場

問7. 明石駅前立体駐車場は、利用時間の24時間化、車室サイズの拡大、皆さんがゆずりあって利用できる大きな車室「みんなにやさしい駐車スペース」やEV充電器の設置、障害者減免手続きの簡便化など、今年4月からサービスを拡充しています。明石駅前立体駐車場のサービスをどのように考えますか。

「料金が上がるならばこのままでも良い」が最も多く41.2%であり、次いで「わからない」が29.3%であった。

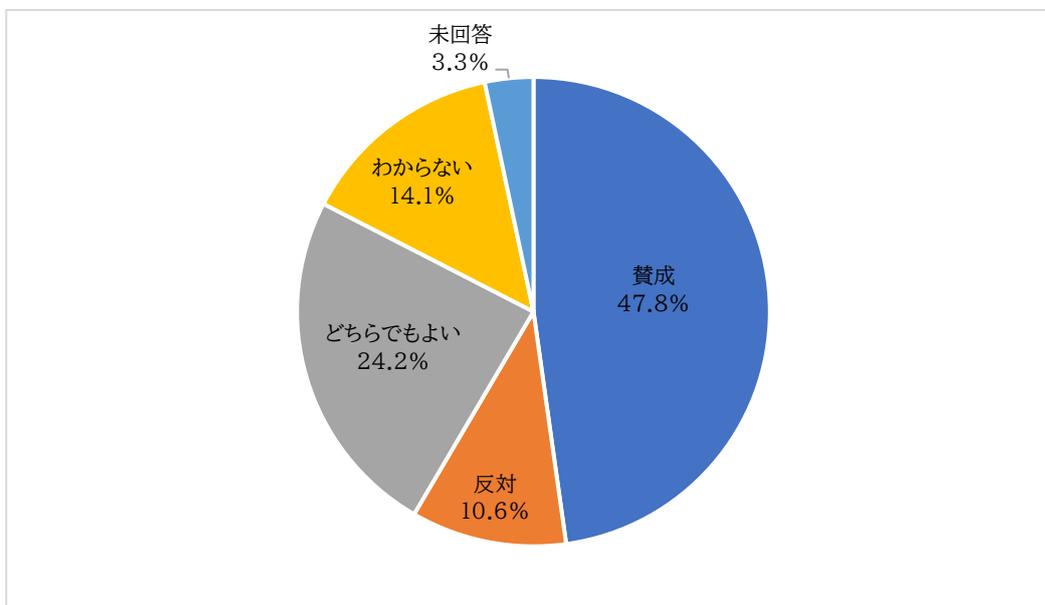


問8. 明石駅前立体駐車場は、指定管理者制度を導入し、指定管理者(タイムズグループ)が管理運営を行っていますが、「明石市公共施設配置適正化計画」等において、施設の民営化(民間に施設を売却するなど)を検討することとなっています。

また、明石駅前の年間約24万台の駐車場需要に対応しており単年度の収支は黒字です。供用開始後35年経過し老朽化が進行しており、長寿命化のための大規模修繕を行う必要があります。

明石駅前立体駐車場を民営化することについてあなたはどのように考えますか。

「賛成」が最も多く47.8%であり、次いで「どちらでもよい」が24.2%であった。



5. その他

問9. 公共施設全般について、ご意見がございましたらご記入ください。

(1)公共施設関連

- ・PFI の活用を促進
- ・東部のみでなく西部もバランスよく検討を
- ・公共施設の周辺もあわせてきれいに整備して欲しい
- ・検討時は地元の意見をしっかり聞いて欲しい
- ・公共施設のデザインや利便性など抜本的に見直して欲しい
- ・早急に施設の集約化を行い、余ったお金をインフラに回して欲しい
- ・採算を超えて民間にできない寄り添い方をするのが公共施設では
- ・民営化手法は民間に利益を取られて市に利益が出るのか疑問
- ・民営化は市民にとっては料金が上がる
- ・ほとんどの施設を売ってしまって身軽に
- ・施設に配置している職員の見直しも必要では
- ・建物は RC 造にこだわらずプレハブでも良いのでは
- ・市の人口規模や子どもにやさしいまちのコンセプトに沿って施設整備に取り組むべき
- ・公共施設は土地も含めて市民の財産
- ・一部の人だけが使用している施設は公共施設とは言えない
- ・各公共施設に福祉コンビニを拡充して欲しい
- ・行政窓口を民間スーパーの中に設けて欲しい
- ・図書館など生活に必ずしも必要でない投資が行われている中で施設の廃止検討は受け入れがたい
- ・大久保に図書館が欲しい
- ・新ごみ処理施設、新庁舎、市民病院も含めて総合的な議論を
- ・卸売市場の整理縮小
- ・卸売市場は必要な施設で再整備すべき
- ・子どもが自習できるスペースを増やして
- ・市営住宅をもっと見直してはどうか
- ・障害者支援の施設を増やして欲しい
- ・市民センター等にたこバスが停まるようにすれば公共施設の利用率が高まるのでは
- ・子どもが遊べる公園をもっと増やして欲しい
- ・あまり使用されていない公園は廃止して欲しい

(2)アンケート関連

- ・アンケートを通して公共施設に関心を持つことができた
- ・アンケートの設問が施設の廃止や民営化ありきになっている
- ・設問のトーンに統一感がない